

平成21年12月17日

環境政策局

〔担当 環境企画部環境管理課〕  
TEL 213-0930

## 第7回京都環境賞受賞者について

～京都環境賞は「びっくり！エコ実行委員会」、特別賞は4団体が受賞～

京都環境賞は、市民や事業者の皆様の自主的な環境保全活動を更に推進していくため、先進的かつ斬新な手法等で環境保全のための活動に取り組んでおられる方を表彰するものです。

この度、「京都環境賞選考委員会」からの御意見を踏まえ、第7回京都環境賞、特別賞の受賞者を下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

表彰式は、平成22年1月26日（火）午後2時から、京都市役所の第一応接室において執り行います。

### 記

#### 1 受賞者

京都環境賞	びっくり！エコ実行委員会
特別賞（市民活動賞）	NPO地域環境デザイン研究所 ecotone
特別賞（企業活動賞）	株式会社ウエダ本社
特別賞（環境教育賞）	京都市立池田小学校
特別賞（環境レポート賞）	三共精機株式会社

#### 2 応募総数

29件	〔	内訳			〕
		市民、市民団体		11件	
		企業		12件	
		環境教育		4件	
		環境レポート		2件	

#### 3 京都環境賞選考委員会

- (1) 開催日時 平成21年12月4日（金）午前9時30分～午前11時
- (2) 開催場所 職員会館 かもがわ
- (3) 委員 別紙のとおり

#### 4 表彰式

- (1) 日時 平成22年1月26日(火) 午後2時～
- (2) 場所 京都市役所第一応接室
- (3) 出席者(予定)
  - 門川 大作 京都市長
  - 坪内 俊明 京都市環境政策局長
  - 山田 國廣 京都精華大学教授(京都環境賞選考委員会委員長)
- (4) 表彰方法  
表彰状及び副賞(賞金:京都環境賞 50万円, 特別賞 5万円)

#### 5 選定理由

##### (1) 「京都環境賞」

受賞者 **びっくり!エコ実行委員会(びっくり!えこじっこういいんかい)**  
代表者 **古川 恭平(ふるかわ きょうへい)**  
所在地 **京都市北区上賀茂畔勝町57-1**  
テーマ **市民×学×産×官のコラボレーションによる「京都議定書」達成に向けた底上げ活動**

##### 選定理由

同団体は、市民、学生、教員、企業などにより組織されており、環境保全行動の底上げを目的に様々な啓発活動を実施している。平成17年から毎年8月に1週間、京都高島屋において、「びっくり!エコ100選」として、100のエコな商品やサービス、取組を、紹介する展示企画を開催しており、本活動への参加がきっかけで、新しいコラボレーション商品やサービスが生まれている(平成20年度以降、東京高島屋でも開催)。この活動への参加企業及び団体は、活動当初、10程度の企業、団体であったが、最近では、60以上の企業、30以上の団体までに増加し、大きな広がりを見せているとともに、消費者や市民の意識や行動にも変化を起こしている。また、平成19年から毎年2月に京都議定書発効記念日に近い週末に「京都議定書マラソン・ウォーキング」を開催し、市民で市内を練り歩いたり、街歩きを楽しんだりする企画を実施している。さらに、平成20年11月から3箇月ごとに、気軽に読める環境冊子として、京都のエコライフ応援マガジン「Do You Kyoto?」を発行しており、収益の一部を環境団体またはエコ活動に寄付していることは高く評価できる。

同団体のこれらの取組は、京都環境賞の趣旨に合致するとともに、京都市内にとどまらず、全国的に、大きな広がりが見られることから、環境保全活動の取組として秀でており、今回、京都環境賞として選定する。

##### (2) 「特別賞(市民活動賞)」

受賞者 **NPO地域環境デザイン研究所 ecotone**  
代表者 **太田 航平(おおた こうへい)**  
所在地 **京都市中京区壬生田柵ノ宮町9-13 HAJIME BLD.**

## テーマ 2R（リデュース、リユース）をテーマとした京都発の地球温暖化防止活動

### 選定理由

同団体は、2R（リデュース、リユース）をキーワードに、「リユース食器を活用した環境対策支援活動」を実施しており、京都を中心に全国で、お祭りやイベントを支援し、年間120万食分の使い捨て容器の削減に寄与している。また、マイボトルへの飲料販売実施に向けて、基盤整備を行っている。これらの活動は、全国的に先駆けた取組であり、リユース食器の取組については、具体的成果及び普及啓発効果が大きく、マイボトルの取組は、使い捨て食器が主流であるコンビニのスタイルを変えるきっかけとなり、更なる発展が期待されることから高く評価できる。

### (3)「特別賞（企業活動賞）」

受賞者 株式会社ウエダ本社（かぶしきがいしゃ うえだほんしゃ）

代表者 岡村 充泰（おかむら みつやす）

所在地 京都市下京区五条通堺町角塩竈町363

テーマ オフィスから始まる地域循環型の環境活動

### 選定理由

同社は、自社オフィスビルに屋上緑化、屋上菜園、雨水タンクを設置するとともに、ワンフロアをエコオフィスとして、LED照明や北山杉の長机を導入している。また、地域循環型のカーボンオフセットとして、当社の指定複合機を購入した企業や団体は、費用負担なしで環境アピールができる仕組みを構築した。さらに、環境をテーマに盛り込んだイベント（京都流議定書）を開催している。地域循環型のカーボンオフセットの取組は、先進的であり、今後の発展性も期待できる。同社の活動は、普及啓発効果も認められ、事業者の地球温暖化対策として高く評価できる。

### (4)「特別賞（環境教育賞）」

受賞者 京都市立池田小学校（きょうとしりつ いけだしょうがっこう）

代表者 校長 山崎 浩二（やまざき こうじ）

所在地 京都市伏見区醍醐鍵尾町17

テーマ オオムラサキを醍醐の空に

### 選定理由

同校では、平成14年度から国蝶であるオオムラサキの飼育に取り組んでおり、地域住民と一緒に成虫を醍醐の空に放つまでに至っている。その他、山科川の清掃や、地域のゴミ拾いにより環境改善を行うとともに、環境問題に対する啓発活動を実践している。また、校内で、動物や昆虫の飼育を行い、児童が動植物に触れる機会を設けている。市内の学校において、これらの実践的な取組により自然環境の大切さを学んでいることは、高く評価できる。

(5)「特別賞（環境レポート賞）」

受賞者 三共精機株式会社（さんきょうせい き かぶしきがいしゃ）

代表者 代表取締役社長 石川 武（いしかわ たけし）

所在地 京都市南区吉祥院九条町49番地

テーマ インターンシップ生によるわたしたちのエコー～環境レポート Vol. 1～

選定理由

同社は、切削工具、測定機器等の販売、環境関連商品及びソリューション提供の会社であり、KES環境マネジメントシステムスタンダード・ステップ2を認証取得し、環境改善活動に取り組んでいる。電気、燃料、紙の節約の他、社外での取組として、環境商品の販売、マイファーム、モデルフォレスト活動を実施している。社内だけにとどまらない活動を行っており、これらの取組を、「わかりやすく、見て楽しく、私もやってみたくなる」環境レポートを作成して紹介していることは、高く評価できる。

(別紙)

## 平成21年京都環境賞選考委員会委員名簿

氏名	役職名
浅岡 美恵	京のアジェンダ21フォーラム幹事, 特定非営利活動法人 気候ネットワーク代表
田中 雅郎	京都新聞社執行役員編集本部長
津村 昭夫	特定非営利活動法人 K E S 環境機構専務理事
林 幹夫	京エコロジーセンター次長
平林 幸子	京都中央信用金庫専務理事
山内 寛	京都市ごみ減量推進会議会長代行, めぐるくん推進友の会会長
山田 國廣	京都精華大学教授
星川 茂一	京都市副市長

(敬称略, 副市長を除く50音順)